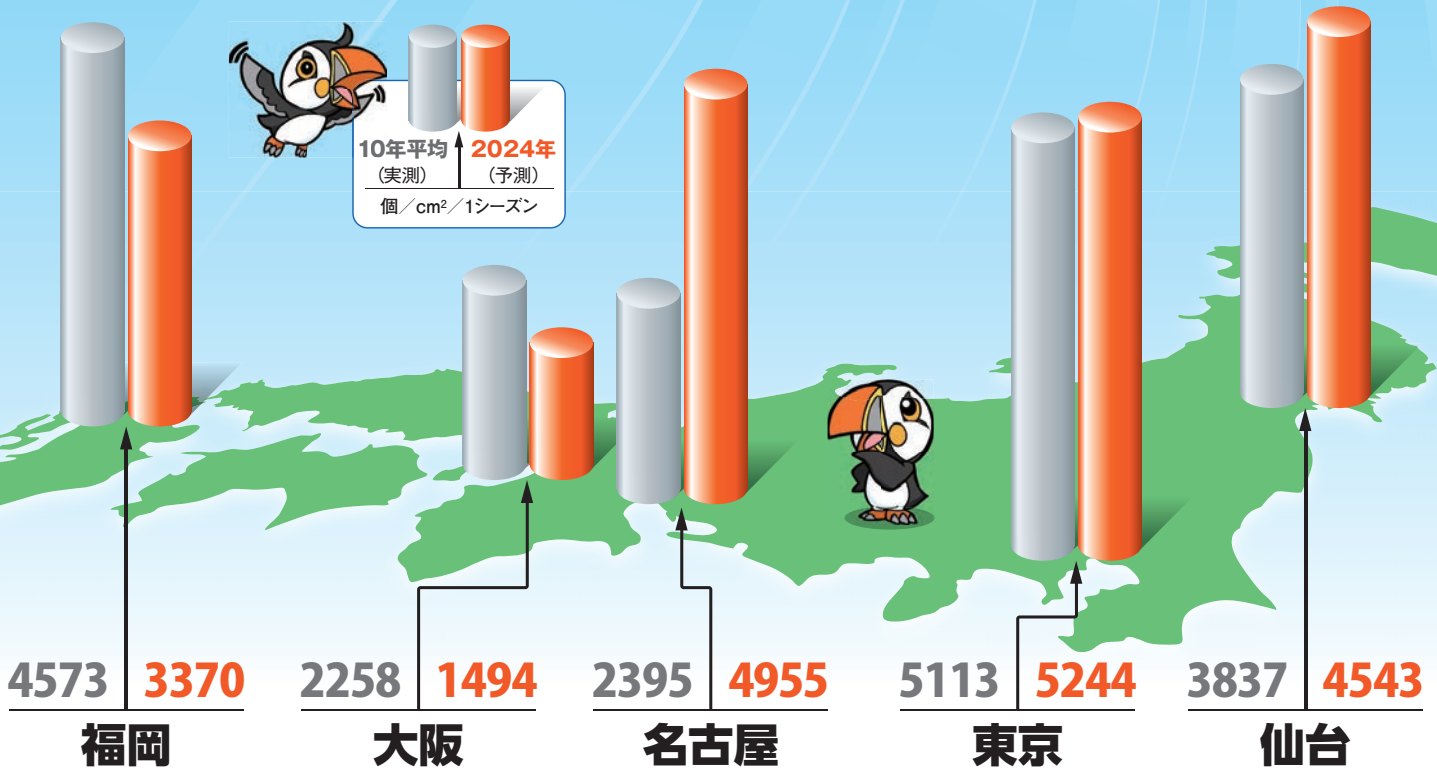


2024年春のスギ花粉の飛散開始は例年よりも早くなるでしょう。

スギ・ヒノキの花粉数は過去10年との比較では並みかやや多い見込みです。

監修 村山 貢司氏
情報提供 気象予報士
NPO花粉情報協会理事



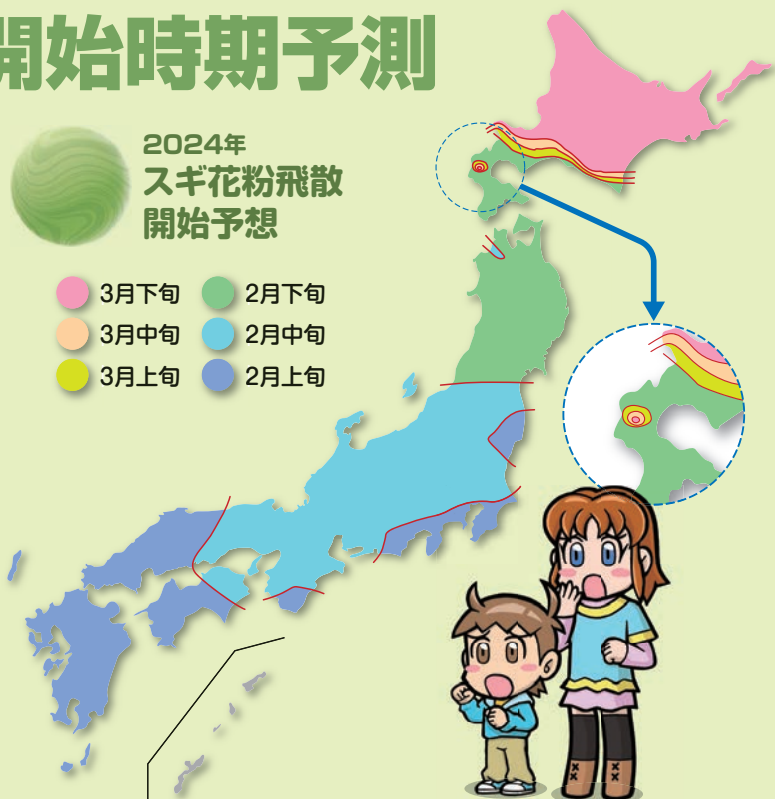
NPO花粉情報協会

2024年の各地の花散飛散開始時期予測

スギ花粉がいつ頃から飛び始めるかは11月以降の気温の推移によって決まります。スギの雄花は11月中旬にはほぼ完成し、その後昼間の時間が短くなり、気温の低下によって休眠に入ります。意外なようですが実は休眠する期間は気温が低いほど短くなります。休眠期間にあたる2023年の11月から12月の気温は平年よりもやや高い見込みです。このため休眠に入る時期や休眠から覚める時期は例年並みかやや遅くなる見込みです。一方、休眠から覚めた後は開花の準備期間になりますが、今度は気温が高いほど準備期間は短く、花粉の飛散開始が早くなります。逆に気温が低いと長くなり飛散開始が遅くなります。気象庁の長期予報では、2024年の1月から2月はエルニーニョ現象の影響で高温になる可能性がかなり高くなっており、2024年春のスギ花粉の飛散開始は例年よりも早くなる見込みです。なお、ヒノキ花粉の飛散開始も例年よりやや早くなり3月上旬頃になるでしょう。

2024年 スギ花粉飛散開始予想

- 3月下旬
- 3月中旬
- 3月上旬
- 2月下旬
- 2月中旬
- 2月上旬





2024

スギ ヒノキ

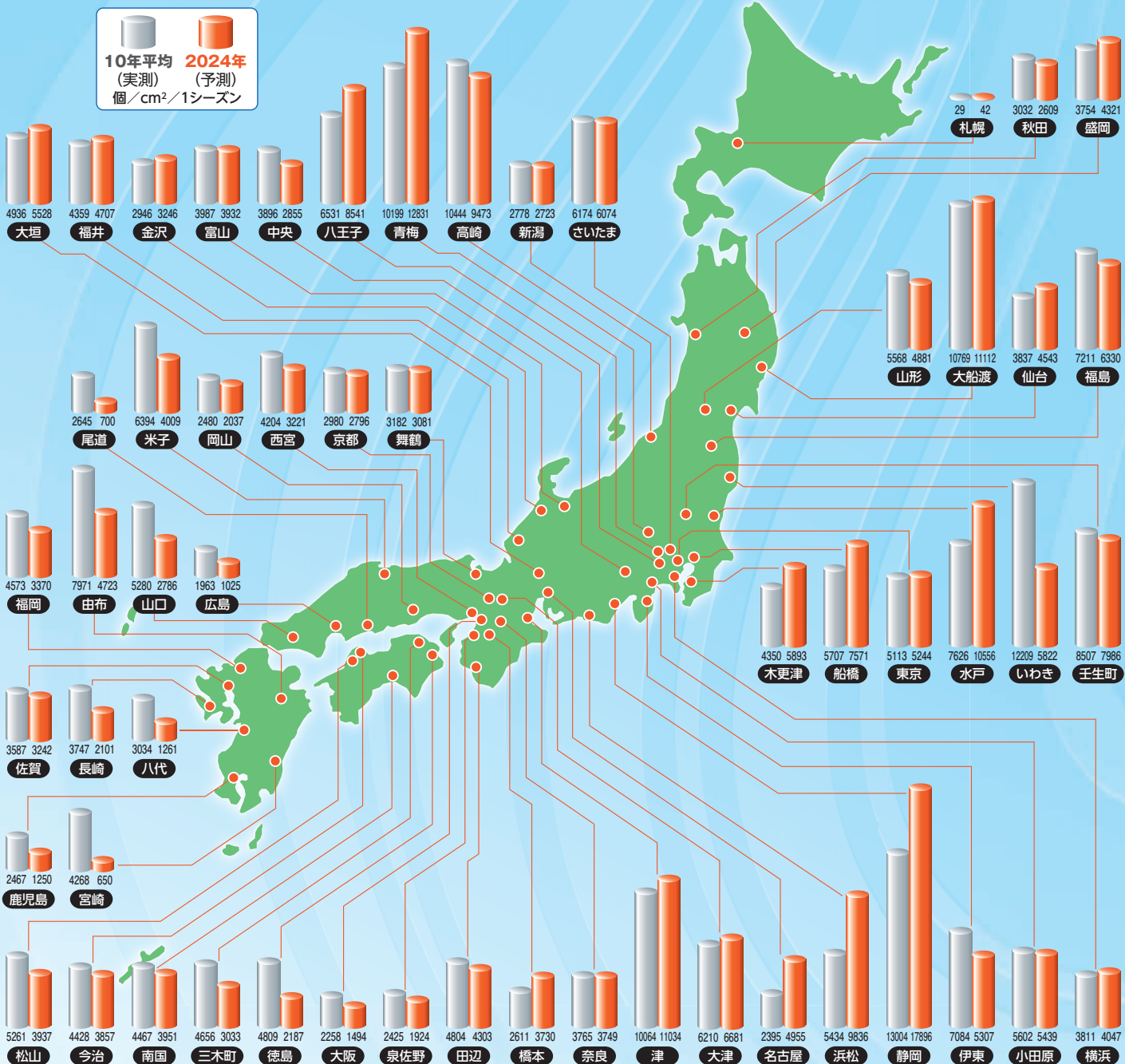
各地の花粉飛散予測



2024年春のスギ・ヒノキの花粉数は北日本の一部を除いて2023年春より少なくなりますが、過去10年との比較では並みかやや多い見込みです。ただ、地域によるばらつきが大きく、2023年春に大量飛散になった地域では例年よりも少なくなるでしょう。

スギやヒノキの花粉数は、6月から7月の日照時間と前年の花粉数に大きな影響を受けます。花粉を作る雄花は6月から7月に成長を始め、この時期の日照時間が多いと雄花(花粉)が多くなります。一方で、前年に大量の雄花が着いた枝は気象条件が同じでも雄花数が減少する傾向があります。2023年春に全国的に雄花が多くなった反動で9月の時点でスギ雄花は前年より減少しています。さらに西日本では6月から7月の日照時間がやや少なくなったために、かなり少ない地域もあるでしょう。

なお、花粉症の初診患者数は2月から3月の花粉数に比例します。2024年の花粉数は2023年よりも減少しますが、エルニーニョの影響で1月から3月にかけて気温が高い見込みです。2024年春は例年より早い時期に花粉数のピークになる見込みで、花粉症の初診患者数は2023年と大きな変化はない見込みです。



なお、この花粉量の予測は2023年10月時点の気象条件を基に予測したものです。 監修・情報提供：気象予報士、NPO花粉情報協会理事 村山 貢司氏 NPO花粉情報協会



田辺三菱製薬



帝國製薬

RPA-444C-
2023年10月作成
(番)23X195